

NEC

ETOSJX for シフトJIS V8.0

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、ETOSJX for シフトJIS V8.0(以下「ETOSJX」と省略します)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたソフトウェアのセットアップおよびアンインストールの方法を中心に構成されています。ETOSJXをお使いになる前に、必ずお読み下さい。

なお、システムを構築するにあたってはETOSJXのマニュアルが必要となります。ETOSJXのマニュアルは、『ETOSJX for シフトJIS V8.0』のパッケージに含まれるCD-ROMに格納されています。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Windows Server、Visual C++、Visual Studioは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

1章	ご利用になる前に.....	4
1.1.	ランタイムライブラリの登録.....	5
1.2.	入力文字をJIS90範囲内に制限する.....	6
1.3.	アプリケーション毎に入力方式を設定する.....	8
1.4.	通常使うプリンターを固定する.....	10
2章	動作環境.....	11
3章	セットアップ.....	12
4章	アンインストール.....	12
5章	注意・制限事項.....	12

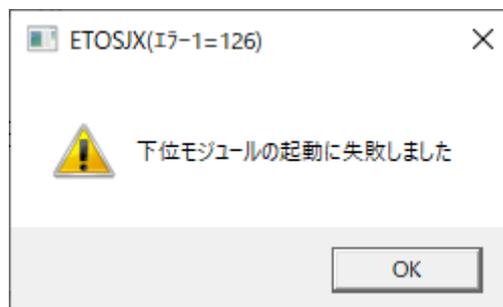
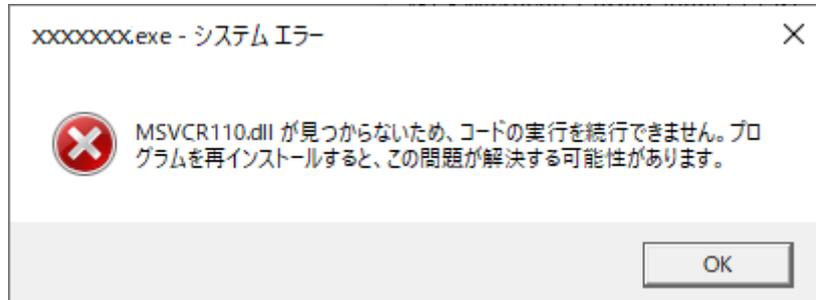
1章 ご利用になる前に

ETOSJXのご利用にあたっては、以下の点にご注意ください。

1. 本製品は、ETOSJX for シフトJISと、オンラインプリントステーションのいずれかを選択してご利用ください。
なお、「ETOSJX for シフトJIS V8.0 1サーバライセンス」は、ETOSJX for シフトJISでのみ利用可能です。
2. ETOSJX for シフトJISは、運用形態としてスタンドアロン形態とETOS通信GW接続形態のいずれかを選択できます。
詳細は、「ETOSJX for シフトJIS V8.0 導入ガイド(スタンドアロン形態)」または「ETOSJX for シフトJIS V8.0 導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」を参照してください。
3. インストールを行う際は、必ずSETUP.EXEを起動してください。
4. ETOSJXのソフトウェアが起動しない場合は、ランタイムライブラリをインストールしてください。
詳細は、「1.1 ランタイムライブラリの登録」を参照してください。
5. ETOSJX for シフトJISにIMEから入力する文字をJIS90の範囲に制限する必要があります。設定方法は、「1.2 入力文字をJIS90範囲内に制限する」を参照してください。
6. Windowsの設定によっては、すべてのアプリケーションでIMEの入力状態が共有されるため、ETOSJXで行ったIMEの入力状態変更が、他のアプリケーションにも影響することがあります(その逆も同様です)。
ETOSJXによるIMEの自動制御が不要な場合は、ETOSJX-PGの[拡張パラメータ] - [入力モード指定]で、「IME制御」チェックボックスのチェックを外してください。
なお、Windows 7以前と同様に、アプリケーション毎にIMEの入力状態を保持したい場合は、Windowsの設定を変更してください。
設定方法は、「1.3 アプリケーション毎に入力方式を設定する」を参照してください。
7. ETOSJX-PGの[拡張パラメータ] - [画面指定] - [表示指定] - [ブリンキング表示指定]で「ブリンキング表示」を指定した場合、ブリンキング表示において文字枠が残ることがあります。Windowsの以下のいずれかの設定を変更してください。
 - ①「システムのプロパティ」の「詳細設定」タブで「パフォーマンス」の[設定]ボタンを押し、「パフォーマンスオプション」の「視覚効果」タブで「スクリーンフォントの縁を滑らかにする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
 - ②「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォント」の「ClearTypeテキストの調整」を選択し、「ClearTypeテキストチューナー」で「ClearTypeを有効にする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
8. Windowsの設定によっては、最後に使用したプリンタが自動的に「通常使うプリンター」に設定されることがあります。特定のプリンタを「通常使うプリンター」に固定したい場合は、Windowsの設定を変更してください。
設定方法は、「1.4 通常使うプリンターを固定する」を参照してください。

1.1. ランタイムライブラリの登録

ETOSJXのソフトウェアが起動できない場合や、ETOSJXのソフトウェアを起動した際に以下のようなエラーメッセージが表示される場合は、下記のランタイムライブラリをインストールしてください。



<ETOSJX for シフトJIS>

Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012 (x86)

※ランタイムライブラリは、ETOSJX for シフトJIS V8.0 CD-ROMに格納されています (¥vcredist_x86¥vcredist_x86.exe)。

または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

<オンラインプリントステーション>

Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86)

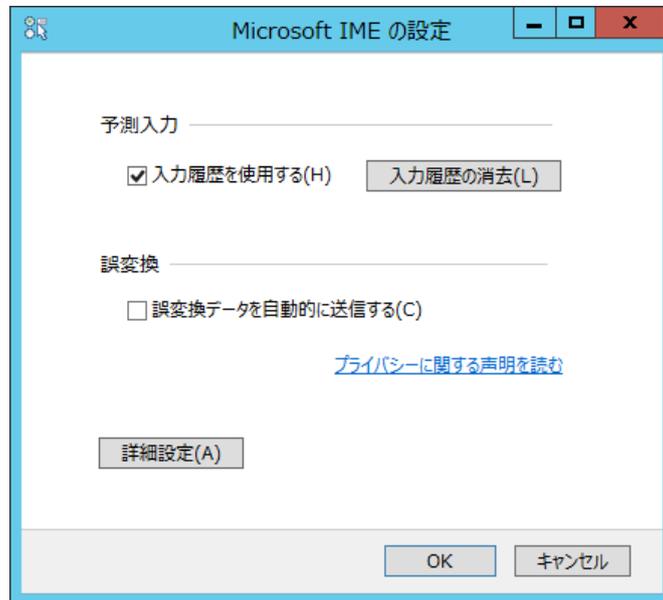
※ランタイムライブラリは、オンラインプリントステーション V3.0 CD-ROMに格納されています (¥vcredist_x86¥VC_redist.x86.exe)。

または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

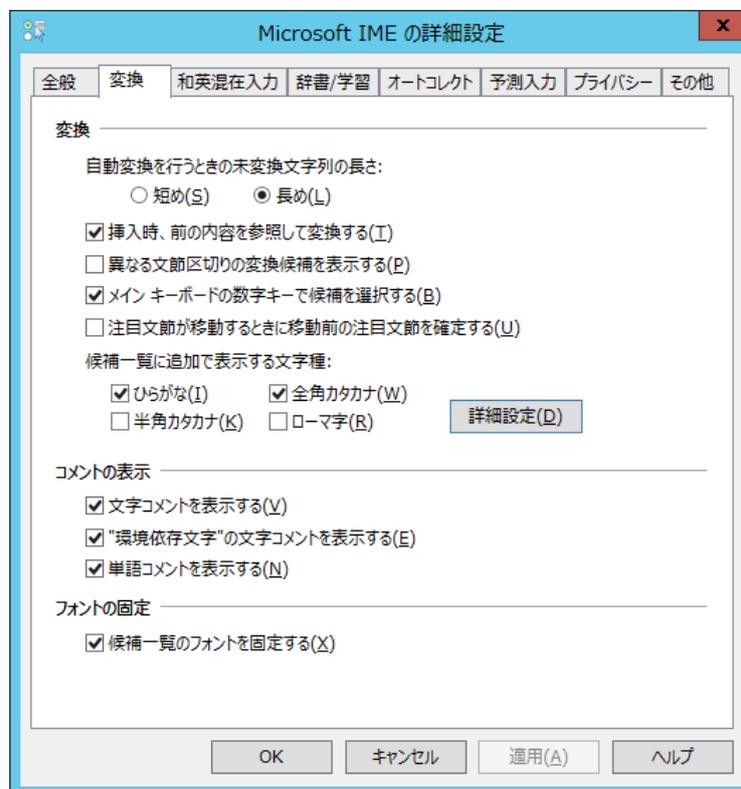
1.2. 入力文字をJIS90範囲内に制限する

以下の手順でIMEからJIS90範囲外の文字を入力できないようにしてください。

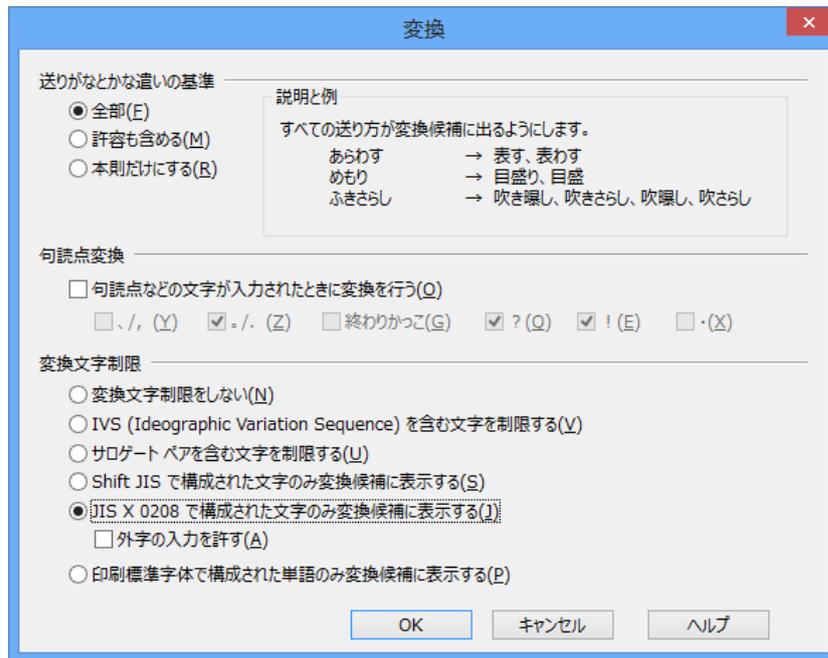
- (1) Microsoft IME のプロパティを表示する。
※以下の画面が表示された場合は、[詳細設定] ボタンを押す。



- (2) 「候補一覧に追加で表示する文字種」の[詳細設定] ボタンを押す。



- (3) 「JIS X 0208 文字で構成された単語/文字のみを変換候補に表示する(J)」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



- (4) 「OK」ボタンを押して設定を完了する。

1.3. アプリケーション毎に入力方式を設定する

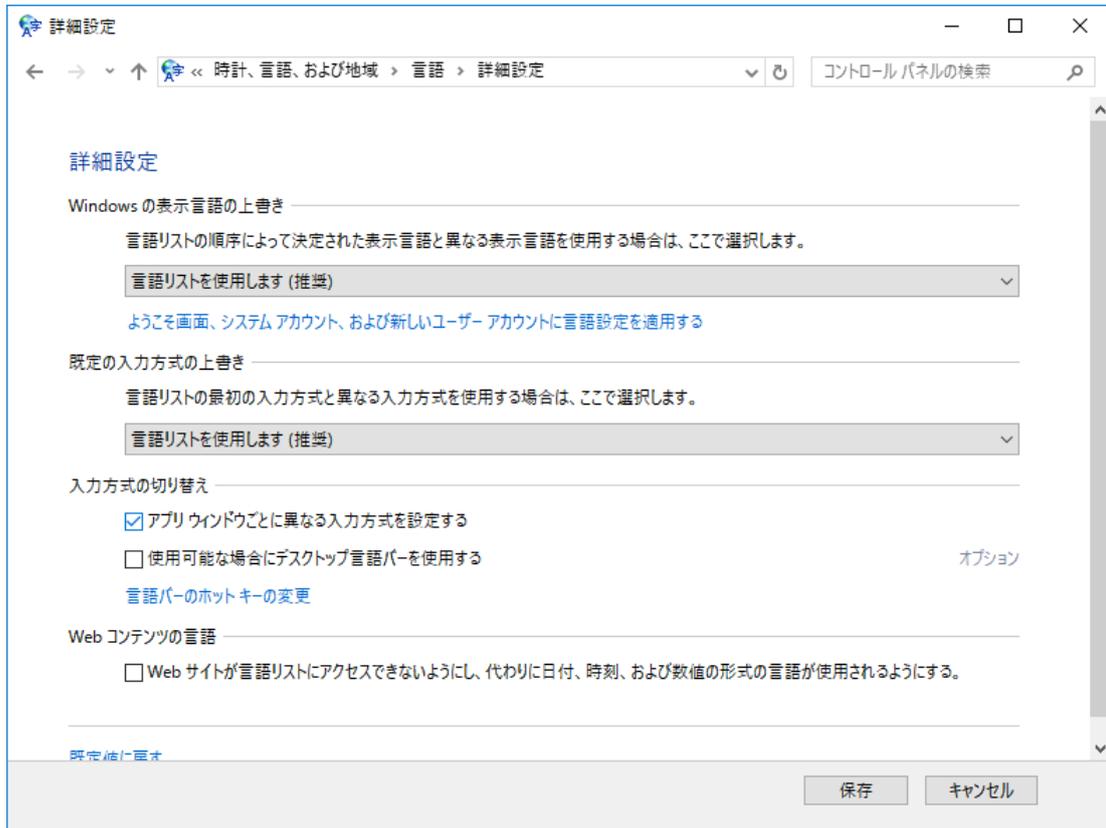
1. Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows 11/Windows 10の場合

- (1) スタートメニューから「設定」を選択して設定画面を開く。
- (2) 「デバイス」を選択する。
- (3) 左側メニューから「入力」を選択する。
- (4) 「その他のキーボード設定」の「キーボードの詳細設定」を選択する。
- (5) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



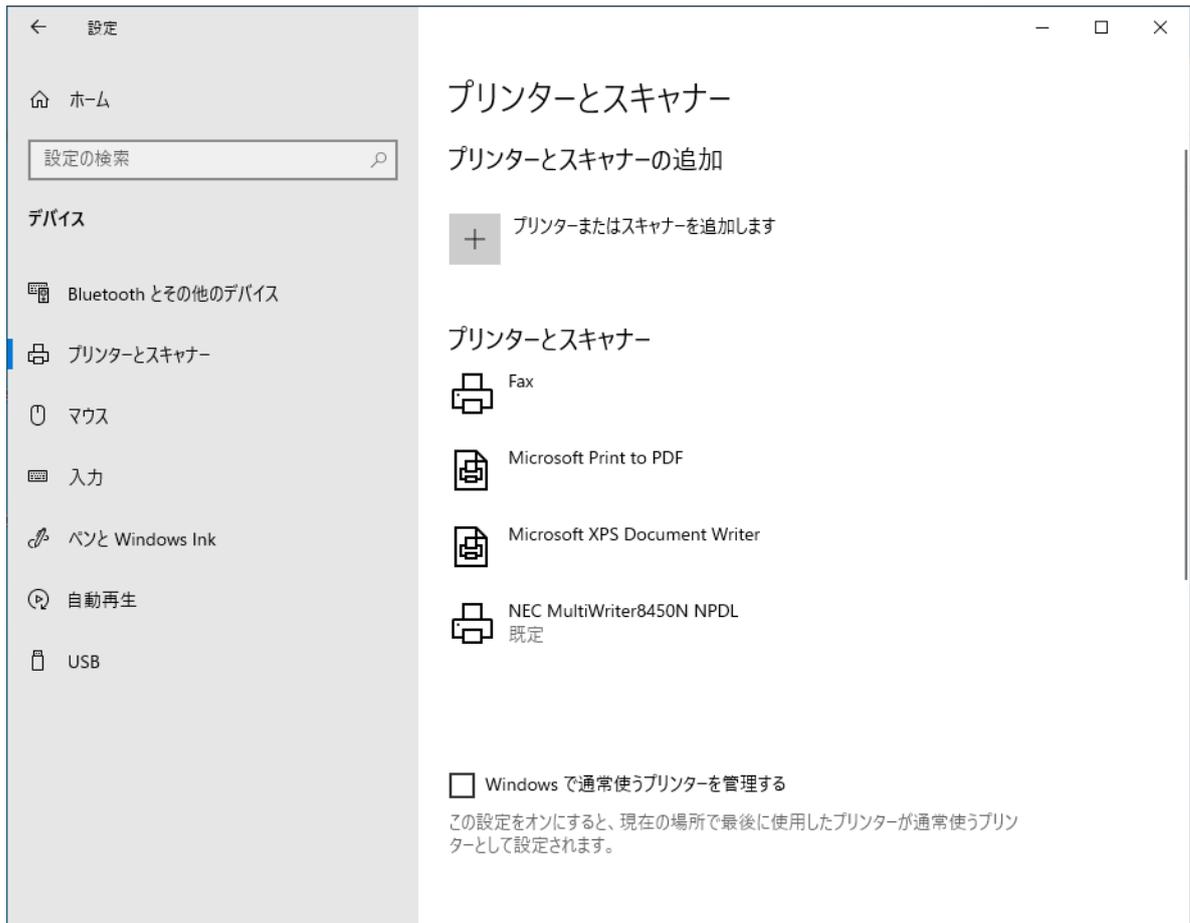
2. Windows Server 2016の場合

- (1) コントロールパネルを開き、「時計、言語、および地域」 - 「言語」を選択する。
- (2) 左側メニューから「詳細設定」を選択する。
- (3) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



1.4. 通常使うプリンターを固定する

- (1) スタートメニューから「設定」を選択して設定画面を開く。
- (2) 「デバイス」を選択する。
- (3) 左側メニュー「プリンターとスキャナー」を選択する。
- (4) 「Windows で通常使うプリンターを管理する」を「オフ」に設定する。



2章 動作環境

ETOSJXをセットアップするには、以下のOS環境が必要です。詳細については、ETOSJX for シフトJIS V8.0 CD-ROMの「**導入ガイド(スタンドアロン形態)**」、「**導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)**」、オンラインプリントステーション V3.0 CD-ROMの「**ユーザーズマニュアル**」を参照してください。

なお、最新の情報は、ETOSJXシリーズの製品紹介サイトを参照してください。

(1) ETOSJX for シフトJIS(スタンドアロン形態)

- Windows 11 Pro
- Windows 10 Pro
- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2016 Standard

(2) ETOSJX for シフトJIS(ETOS通信GW接続形態)

①サーバ環境

- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2016 Standard

②クライアント環境

- Windows 11 Pro
- Windows 10 Pro

(3) オンラインプリントステーション

- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2016 Standard

※上記以外のOS上での動作は保証していません。

※Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016のServer Core、Nano ServerおよびTerminal Service環境での動作は保証していません。

※Windows 10タブレットモードでの動作は保証していません。

※ターミナルサービスクライアント環境、リモートデスクトップ等での動作は保証していません。

3章 セットアップ

ETOSJXのソフトウェアのセットアップ方法については、ETOSJX for シフトJIS V8.0 CD-ROMの「導入ガイド(スタンドアロン形態)」、「導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」、またはオンラインプリントステーション V3.0 CD-ROMの「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

4章 アンインストール

ETOSJXのソフトウェアのアンインストール方法については、ETOSJX for シフトJIS V8.0 CD-ROMの「導入ガイド(スタンドアロン形態)」、「導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」、またはオンラインプリントステーション V3.0 CD-ROMの「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

5章 注意・制限事項

ETOSJXの注意・制限事項については、ETOSJX for シフトJIS V8.0 CD-ROMの「導入ガイド(スタンドアロン形態)」、「導入ガイド(ETOS通信GW接続形態)」、またはオンラインプリントステーション V3.0 CD-ROMの「ユーザーズマニュアル」も参照してください。

1. Windows 11またはWindows 10(x64)で、ETOSJX for シフトJISのN5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合は、本製品同梱の「ETOSJX向けWindows64bitOS用プリンタドライバ」を別途インストールする必要があります。
2. ETOSJX for シフトJISのN5200系コード印刷の障害通知機能を使用する場合、ETOSJX専用プリンタ登録が必要です。詳細については、導入ガイド「ETOSJX専用プリンタ登録」の章を参照してください。